

河西回廊 仏教美術 10日間

インドより中国に伝わった仏教はシルクロードを通り、中国各地に広まっていきました。紀元後5世紀頃には石窟寺院の建立が盛んになり、河西回廊の地域にも多くの石窟が遺っています。こちらのコースでは、その中でも特に素晴らしい麦積山石窟、莫積山石窟、炳靈寺石窟を訪ねます。三つの趣の異なる中国仏教美術をご堪能下さい。

1	各地空港 → 西安 空路、西安へ(経由便又は直行便) 【西安泊】
2	西安 → 法門寺 → 天水 西安から西へ120kmの法門寺へ お釈迦様の指の仏舎利のある法門寺参拝 午後、黄土高原に開かれた町・天水へ 【天水泊】
3	麦積山 → 蘭州 午前、彫刻や塑像が残る麦積山石窟見学 午後、黄河本流最大の都市・蘭州へ 【蘭州泊】
4	蘭州 → 炳靈寺 → 蘭州 → 武威 劉家峡ダムより高速船にて炳靈寺石窟見学 (劉家峡ダムの水位が低く、炳靈寺石窟に行けない場合は蘭州市内見学) 烏鞘嶺(3,000m)を越え、武威へ 【武威泊】
5	武威 → 張掖 午前、武威市内見学(鳩摩羅什ゆかりの羅什塔、西夏博物館) 午後、張掖の東方見聞録にも記載のある大仏寺見学 【張掖泊】
6	張掖 → 馬蹄寺 → 酒泉 午前、馬蹄寺を見学 午後、河西回廊の中心にあるオアシス都市・酒泉へ 途中、魏や晋の時代の貴重な壁画が残る魏晋壁画墓を見学 【酒泉泊】
7	酒泉 → 嘉峪関 → 安西 午前、酒泉市内見学(酒泉公園、鉦鼓楼) 後、嘉峪関へ 万里の長城最西端の嘉峪関見学後、安西へ 【安西泊】
8	安西 → 榆林窟 → 敦煌 榆林窟見学後、敦煌へ 夕刻、駱駝に乗って鳴砂山、月牙泉へ 【敦煌泊】
9	敦煌 → 北京 「砂漠の大画廊」莫高窟と鳩摩羅什ゆかりの白馬塔見学 後、北京へ 【北京泊】
10	北京 → 各地空港 空路、帰国の途へ 着後、入国手続き、税関の後、解散

河西回廊の地域

河西回廊は中国大陸の中の広大な範囲に広がっていますが、地域としては甘粛省の蘭州と6,500m級の祁連山脈を水源とする砂漠河川に潤されるオアシス都市群である「河西四郡:武威、張掖、酒泉、敦煌」を包括しています。漢の武帝の時代以降、新疆に連なる重要な交易路として、古代中国と西方世界の政治・経済・文化・宗教的交流を進めた重要な国際通路でした。



河西回廊の一部・祁連山脈

麦積山石窟

秦嶺山脈の西端にあり、1952年に発見されました。麦を積上げたような山の形から「麦積」と呼ばれています。石質は礫岩で、東崖と西崖に分れており、北魏、西魏、北周、隋、唐、宋、明代に続営された194の窟龕が現在見つかっています。



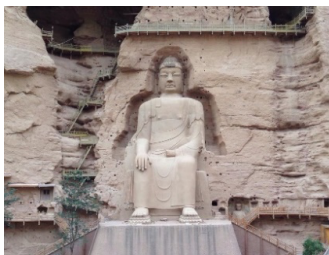
麦積山遠景



窟内の塑像

炳靈寺

1952年に発見された石窟です。上寺と下寺に分れており、上寺には2つの石窟が、また下寺には洞窟 36か所、壁龕 88か所が残っています。西秦、北魏、唐、明の各時代に造られたものと思われ、内部には多くの石仏や若干の壁画が遺存しています。



炳靈寺石窟

榆林窟

榆林河の溪谷に開削された大規模な石窟で、現存する石窟は唐代から清代までのもので41ヶ所、壁画の総面積は5,650㎡、塑像は約270体ほど残っています。25窟の西方浄土変と弥勒浄土変は唐代壁画の優れた作品とされています。



榆林窟外観



特別有料窟3窟水月観音壁画と玄奘取経図

鳴砂山と月牙泉

敦煌近郊にあり、鳴砂山の麓にあるオアシス月牙泉は三日月(中国語で月牙)の形をしているので、月牙泉と呼ばれます。砂漠の中にあつて何千年前から絶えることなく湧き続けている不思議な泉です。泉のそばの楼閣と砂漠の風景は敦煌の代表的な景色といえます。



鳴砂山



月牙泉